

様式 6

平成 17 年度共同利用実施報告書(研究実績報告書)

- 1 . 研究種目名 特定共同研究 (A) 2 . 課題番号 2005-A-19
- 3 . 研究課題 (集会) 名 和文 : 地殻活動総合データベースの開発
英文 : The development of earth crust activity integrated database.
- 4 . 研究期間 平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日
- 5 . 研究場所 地震研究所、東北大学、など
- 6 . 研究代表者所属・氏名 東北大学大学院理学系研究科・海野 徳仁
(地震研究所担当教員名) 鷹野澄・佃為成
- 7 . 共同研究者・参加者名 (別紙)
- 8 . 研究実績報告 (成果) (別紙にて約 1,000 字 A4 版 (縦長) 横書) (別紙に作成)

10・成果公表の方法 (投稿予定の論文タイトル、雑誌名、学会講演、談話会、広報等)

備考

・研究成果を論文等で発表される場合、以下の形式の文章を謝辞等に記載して下さい。

(英語) This study was supported by the Earthquake Research Institute cooperative research program.

(和文) 本研究は、東京大学地震研究所共同研究プログラムの援助を受けました。

・特定共同研究 B については、プロジェクト終了年度に冊子による報告書の提出が必要です。

・研究成果について、本所の談話会、セミナー、「広報」での発表を歓迎いたします。

別紙

7. 共同研究者・参加者名

共同研究者名	所属・職名	備考	
海野 徳仁	東北大学 教授	代表	
笠原 稔	北海道大学 教授		
小菅 正裕	弘前大学 助教授		
林 能成	名古屋大学 助手		
大見 士朗	京都大学 助手		
植平 賢司	九州大学(島原) 助手		
後藤 和彦	鹿児島大学 助教授		
木村 昌三	高知大学 助教授		
高濱 聡	気象庁		
吉岡 敏和	産総研		
関口 涉次	防災科学研究所 主任研究員		
鶴岡 弘	地震研究所 助手		
佃 為成	地震研究所 助教授		担当教員
鷹野 澄	地震研究所 助教授		担当教員

8. 研究実績報告(成果)(別紙にて約1,000字A4版(縦長)横書)(別紙に作成)

日本列島及びその周辺域を対象として、これまで各大学や観測機関で蓄積されてきた地形、重力、地殻構造、地殻変動、地震活動等の基礎データを整理・統合し、地殻活動予測シミュレーションモデル開発の基礎となるデータベースを開発することを目的として、各大学において、ア.日本列島地殻活動情報データベースの構築、イ.地殻活動データ解析システムの開発、ウ.古い地震記象の整理とデータベース化、などが実施された。

地震研究所では、地震研究所が保管する古い記録の整備について、所内の古地震・古津波記録委員会(島崎邦彦委員長)で議論し、SMAC型の強震記録についてのフィルム作成作業に着手した。また、保管状況が悪化してきている古いマイクロフィルムについて、ファイリング整理、フィルムの分割整理などを開始した。また、昨年度作成した、古い津波記録約1万枚のマイクロフィルムのスキャン画像データファイルをデータベース化し、津波波形画像データベースシステムを作成した。

一方、特定共同研究(A)の2005-A-17「地殻活動予測シミュレーション」、2005-A-18「地殻活動モニタリング手法の高度化」の研究グループと合同で、研究集会2005-W-07「地殻活動データに基づく予測シミュレーションモデル構築に向けて」を開催し、それぞれの研究分野の現状の到達点と今後の研究協力について活発な議論を行った。

以上